

(株) えふえむ草津 第88回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 2026年7月22日(水) 18時30分 ~ 19時30分

2. 開催場所 草津アマカホール 文化教室1
(草津市草津3丁目13-30)

3. 委員の出欠 委員総数 5名 出席委員 5名

(出席委員) 岡本 直輝 森 健蔵 松田 泰子 権田 五雄 山本 一成

(欠席委員) なし

(えふえむ草津側出席者) 木村 博 (代表取締役)
中辻 睦規 (事務局)

4. 議 題

(1) 近況報告

(2) 番組「防災、今日なにをする?~新人防災士のゆる学び~」について

(3) 訂正または取消し放送の実施状況

(3) その他



5. 議事の概要

(1) 近況報告

えふえむ草津で行っている取り組み等について、以下の通り報告を行った。

この5月から7月までのえふえむ草津の主な取り組みについて、ご報告させていただきます。この期間も、地域の話題やイベントを積極的に取材し、放送を通じて地域の魅力をお伝えしてまいりました。

6月3日には草津市役所一帯で開催された、草津中学校3年生が3年間の学びの成果を発表するイベント「KUSACCHU FESTA in 2026」、6月13日にキラリエ草津で開催された「キラリエまつり」、7月12日に旧東海道草津宿 道灌蔵で行われた「道灌蔵×湖南農業高校 酒粕スイーツ限定販売」など、地域で取り組まれている話題を取材し、市民の皆さまにお届けしました。

また、6月29日から7月1日にかけて、玉川中学校の職場体験を受け入れ、放送局の仕事を体験していただきました。

一方で放送設備につきましては、安定した放送を継続できるよう、演奏所と送信所を結ぶ回線の更新に向けた準備を進めており、放送の信頼性向上にも取り組んでいるところです。

なお、緊急割込み試験放送につきましては、6月17日に草津市危機管理課が、7月17日にえふえむ草津が行いました。また7月1日に全国瞬時警報システム（Jアラート）の全国一斉情報伝達試験を行いました。

今後も、地域に密着したコミュニティFMとして、市民の皆さまに役立つ情報をお届けするとともに、「地域の声」を大切にしたい番組づくりを進めてまいります。

(3) 番組 「 防災、今日なにをする？～新人防災士のゆる学び～」 について

2026年4月18日に放送した番組 「 防災、今日なにをする？～新人防災士のゆる学び～」 について、音源を聞いた上で審議に入った。

(えふえむ草津)

2002年に創設された防災士制度。自主防災組織、自治会、学校、企業、福祉施設などで地域防災のリーダーとして活動しており、日本防災士機構によると、今年6月末時点で累計36万人以上が認証登録されています。

えふえむ草津のパーソナリティの中にも防災士資格を持つ者がおり、モーニングロケット785などの番組内で防災についてお伝えする事はありませんでしたが、この4月から防災士資格に焦点をあて、専門的な番組を制作することとなりました。番組では防災に関する知識を豊富に持つ先輩防災士をゲストに迎え、リスナーと共に学ぶ、といったコンセプトでお送りしています。

今回ご審議頂く回は、NPO 法人しがいち防災研究所の岩佐 卓實さんを迎え、2月1日に矢倉小学校で行われた草津市防災訓練について、取材の様子が交えお送りしたものです。南海トラフ地震が発生し、草津市内で震度6強の揺れを観測。矢倉学区で甚大な被害が発

生しているとの想定で、シェイクアウトや住民安否確認、情報伝達や対策本部運営などの訓練が行われました。

しがいち防災研究所では体育館にて避難所運営訓練「リアル HUG 訓練」を行いました。参加者が様々なシチュエーションが書かれたカードを首にかけてその人になりきり、避難所の受付や誘導がスムーズに出来るかを確認していく訓練です。

今回はオープニングとそのコーナーをお聴き頂き、ご審議をお願い致します。

(番組に対する審議委員からの主な意見)

○ 番組の趣旨について

- ・地域住民に防災への関心を持ってもらうきっかけとなる良い番組である。
- ・滋賀県は災害が少ないという意識から危機感を持ちにくい地域であり、地域メディアとして防災情報を継続的に発信する意義は大きい。

○ テーマ設定について

- ・一つの放送で扱う内容がやや広く、テーマが分散していた印象を受けた。
- ・「リアル HUG 訓練」を主題とするのであれば、その内容をより深く掘り下げた方が伝わりやすい。
- ・ロープワークなど別の話題は別テーマとして構成した方が、それぞれの内容が理解しやすくなる。

○ 市民目線の内容を期待

- ・専門的な解説だけでなく、市民がすぐ実践できる内容を多く取り上げてほしい。
- ・家庭での備蓄、携帯トイレの準備、ローリングストックなど、日常生活に直結する情報への関心は高い。
- ・「災害時に自分は何を準備すべきか」を具体的に伝える内容が望まれる。

○ 今後取り上げてほしいテーマ

- ・災害用トイレの備えと使用方法
- ・家庭での備蓄方法
- ・高齢者や障害者、乳幼児など要配慮者への対応
- ・地震だけでなく豪雨や土砂災害など地域に身近な災害
- ・地域防災組織や町内会の防災活動

○ 番組構成について

- ・番組全体を通して一つのテーマを明確に設定し、内容を整理するとより理解しやすくなる。
- ・シリーズとして年間を通じて計画的にテーマを設定し、継続して放送することが望ましい。

○ 地域情報の発信について

- ・クーリングシェルターや熱中症対策など、季節に応じた生活情報も積極的に放送してほしい。
- ・生放送内で短時間でも注意喚起を繰り返すことで、市民への周知効果が期待できる。

(3) 訂正または取消し放送の実施状況

特になし

【議事録の公表方法】

- ①当社玄関カウンターに設置（８月１０日 ～）
- ②当社ホームページへの掲載（８月１０日 ～）